

災害情報の伝達経路

状況に応じて、気象情報(大雨・洪水などの注意報・警報や台風・地震・火山についての情報)と避難情報は、下図のように町民の皆さんに伝えられます。



災害などで発令される避難情報(気象庁と美瑛町より発表・発令)

住民の避難行動等を、直感的に理解できる「警戒レベル」で危険度や避難のタイミングを伝えます。

警戒レベル4で全員避難!!

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	情報発信
警戒レベル5	すでに災害が発生しています。命を守るための最善の行動をとってください	市町村が発令
警戒レベル4	危険な場所から 全員避難!	避難情報と気象情報
警戒レベル3	危険な場所から 高齢者等は避難!	災害発生情報
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認	大雨特別警報・氾濫発生情報
警戒レベル1	防災意識情報などの最新情報に注意するなど、災害への心がまえを高める	避難勧告・避難指示(緊急)
		土砂災害警戒情報・氾濫危険情報
		避難準備・高齢者等避難開始
		大雨・洪水警戒情報・氾濫警戒情報
		大雨・洪水・氾濫 注意報
		気象庁が発表
		早期注意情報 (警報級の可能性)

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的にレベル1から順に発令されるとは限りません。

警戒レベル5に相当する 特別警報が発令された場合

数十年に一度、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに「命を守る行動」をとってください!

災害情報の入手

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。普段から気象庁が発表する気象情報に注意し、いざという時に備え、どのような情報がどのようにして受信できるのかを確認しておきましょう。

テレビ・ラジオ SNS・インターネット

様々な媒体を利用して情報を入手しましょう。また、テレビの地デジ放送でも情報が入手できます。テレビリモコンの「**idボタン**」を押してください。

防災行政無線 (戸別受信機・サレシ) スピーカー

美瑛町では、災害が発生した場合、災害の規模、災害現場の位置や状況を把握し、いち早く正確な災害情報の伝達手段の確保を目的として、防災行政無線を整備しています。

エリアメール (NTTドコモ) 緊急通報メール (au・ソフトバンクなどを)

携帯電話・スマートフォンをご利用の方に、緊急を要する気象・地震・津波などの情報が一斉に配信されます。
※受信は無料ですが、各種対応機種による設定をお願いします。

気象情報に注意!

台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、以下のホームページやSNSなどからも入手できます。

美瑛町公式SNS

美瑛町からのお知らせや、防災情報、各種行事の様子などをLINEやFacebookから情報を発信しています。

Yahoo! 防災速報 アプリ

アプリをダウンロードすると美瑛町の気象情報、避難情報、河川情報等を知ることができます。

NHK ニュース 防災 アプリ

NHK公式のアプリ。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックでき、ライブ放送の同時提供もあります。

防災情報全般 (警報・注意報/地震/竜巻など)

北海道防災情報 (警報・注意報/地震/竜巻など)

気象情報

気象庁 旭川地方気象台

雨量・水位情報

国土交通省 川の防災情報

火山情報

気象庁 旭川地方気象台(火山情報)

「防災無線デジタル受信機」の乾電池の交換方法

防災行政無線戸別受信機は、災害時に町民の皆さんの生命・財産を守るために町からの緊急放送を受信する非常に重要なものです。通常はコンセントからの交流電源で継続して作動し、放送を受信しています。停電の際は自動的に乾電池での作動に切り替わりますが、電池が切れてしまうと放送を受信できません。万が一に備え1年に1度は必ず乾電池の交換をお願いします。

本体の乾電池は大丈夫でしょうか？ 乾電池ランプの確認

- ① 本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- ② 再度電源を入れて「乾電池ランプ」が赤く点灯すると正常に作動しています。

確認の方法



「乾電池ランプ」が次の場合は乾電池の交換をお願いします。

- ① 点滅する
乾電池の残量が少なくなっています。早めに交換してください。
- ② 点灯しない
乾電池で作動していません。乾電池の入れ忘れか乾電池の交換が必要です。

乾電池を交換する

乾電池は単1形、単2形、単3形に対応しています。(いずれかの形の新しい乾電池を2本用意してください)

単2形・単3形の場合

- 電源を切る。
(前面の黒いレバーを下げる)
- フタを開ける。
(フタのマークを強く押しながら下スライドさせると開きます)
- 乾電池を交換する。
(中と右を間違えないよう、しっかりと差し込む(単2形も同様))
- フタを閉める。
- 電源を入れる。
(側面の黒いレバーを上げる)
- 乾電池の赤いランプが「点灯」すると交換完了です。



単1形の場合(単2形・単3形からの交換)

- 乾電池ボックスを左へずらす。
(固定が解除されます)
- 乾電池ボックスをひっくり返し左寄りに入れる。
(また固定されません)
- 乾電池ボックスを右へずらす。
(固定されます)
- 単1形乾電池を入れる。
(中と右を間違えないよう、しっかりと差し込む)



乾電池での作動時間の目安

- ・単1形 約4日間
- ・単2形 約2日間
- ・単3形 約10時間～12時間

※時間は新品交換時からの目安です。乾電池で作動している時に放送発生に受信すると、時間はさらに短くなります。定期的に本体前面の乾電池ランプの状態(点灯・点滅・消灯)を確認のうえ、適宜交換をお願いします。

日頃の備え

自宅編

災害はいつ起きるかわかりません。いざというときに慌てないよう家族で話し合い、日頃から防災意識を高めることが大切です。

役割分担を決める!



連絡方法や集合場所を決める!



避難所を確認しておく!



地域編

災害が発生した場合、町や防災関係機関も被災しています。地域で力を合わせて助け合い、自分たちのまちは自分たちで守るといふ「共助」の考えに基づいて行動することが大切です。

ご近所とコミュニケーションを!



防災訓練に参加する!



自主防災組織をつくろう!



自主防災組織について

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域住民の共助の意識と連携によって結成される防災組織のことです。

活動内容(例)
<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えるための活動を日頃から行います。 地域内の安全点検 防災知識の普及・啓発 防災訓練

災害時
<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に協力しあい、被害の拡大を防ぐために行動します。 初期消火 避難誘導 救出・救助 情報の収集・伝達 避難所の管理・運営